


重要生息地の概要

(平成19年度指定)

名 称		笠祇・古竹草原重要生息地	
指定の区域	位置(所在地)	宮崎県串間市大字奴久見 (笠祇地区及び古竹地区)	
	面積	164,900㎡(共有地)	
生育環境		草原 県レッドリスト掲載種：23種	
指定の理由		(1) 九州では珍しい暖地性(低地にある)の草原で、多数の希少野生植物が生育している。 (2) 地区の住民による定期的な草刈りや野焼き(2月頃)を実施するなど、地域住民等による自主的な保護活動を行っている。	
保護対策指針		(1) 野生植物の個体群の生育のために確保すべき環境 個体の生育のためには、その生育環境である草原状態を保つとともに、園芸植物の移入(植栽)を行わないようにするなど、当該区域の植生を適切に維持することが必要である。 (2) 生育環境の維持のための管理の方針 当該重要生息地は、これまで、地域住民による草刈りや野焼き等の保護活動が行われてきたところである。今後も(1)で掲げた生育の環境を確保するため、こうした保護活動について、植物の生育に支障を及ぼさない適切な時期に、適切な方法で継続することにより、植生の遷移を抑制するよう努める。	